志布志港新若浜地区国際コンテナターミナル利用促進プロジェクト

基本目標１　稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする

■事業の課題・目的

志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルは、2009（平成21）年の供用開始以降、コンテナ貨物取扱量を順調に伸ばしており、現在では10.9万TEUを扱う、南九州の物流を支える重要な拠点となっています。

しかし、国際物流を取り巻く環境は大きく変化しており、荷主企業の多様なニーズに応えながら、安定的にコンテナ貨物を確保し利用をさらに広げていくことが重要となっています。特に、近隣港との競争の中で、志布志港の優位性や利便性を十分に発信し、港の利用価値を高めていかなければなりません。また、地域企業の輸出入拡大や新たな貨物の掘り起こしを進めるためには、継続的なポートセールスや情報発信、関係機関との連携強化が不可欠です。

■事業内容



〇国内外の荷主企業や物流事業者に対する積極的な支援を実施し、コンテナターミナルの稼働向上と物流機能の強化を進めます。

- 輸出入貨物に対する利用助成
- 冷蔵冷凍電源施設利用助成
- 冷蔵冷凍コンテナ調圧助成
- 新規航路開設助成

〇港の利便性や航路情報、利用メリット等を広く周知するためのPR活動を展開し、新たな貨物の獲得や既存貨物の利用拡大を図ります。

■なぜ寄附を募るのか

志布志港は、地域産業の競争力を支える「物流の生命線」であり、その機能を高めることは、志布志市だけでなく、広く南九州全体の発展につながります。このプロジェクトを進めることで、地域企業の物流コストの低減、輸送の安定化、輸出入の拡大を目指しています。

しかし、港の利用促進には、継続的な営業活動や広報活動、関係者との調整など、行政だけでは十分に対応しきれない取り組みも多くあります。

そのため、企業の皆さまからのご寄附を原動力として、より戦略的かつ継続的にプロジェクトを進めていきたいと考えています。

皆さまからのご支援は、港の利用拡大を通じた地域経済の活性化、雇用の維持・創出、そして地域企業の成長支援につながります。



■メッセージ

皆さまからのご支援は、志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルの利用拡大を後押しし、地域の企業活動を支える確かな基盤づくりにつながります。そして、志布志港を選んでいただくことが、地域の産業を強くし次の投資や雇用を生み、さらに魅力ある地域づくりへとつながっていきます。

ぜひ、志布志市の挑戦にお力添えいただき、地域と企業がともに発展する未来づくりにご協力をお願いします。